Vol. 103
2023年12月1日発行(季刊)

やまもも

高宮八幡宮社報

古道に
積もる木の葉をかき分けて
天照る神の足跡を見ん

高宮八幡宮

初詣 謹賀新年

新年祈祷・会社祈願承ります

「産土神」とは、その土地に住まう
すべての生命を守って下さる「魂の親」です。
初詣は、あなたの産土神「高宮八幡宮」からお詣りください。

◆どんど焼き 1月8日(成人の日) 10時から12時

◆節分祭 2月4日(日) 14時より

今後の祭事

◆月次祭 毎月1日・15日 10時より
(1月1日は除く)

◆神道講座 毎月第一土曜日 14時より(1月は除く)

〔社務〕土・日・祝日 9:00～16:00
平日 9:00～12:00／午後不定休
〒815-0083 福岡市南区高宮4-9-34
TEL・FAX 092-522-8435
https://takamiyahachimangu.com/

初詣・どんど焼き・節分祭

産土の神様から、新しい一年を生きる命のお力（お歳魂）をいただきにお詣りしましょう。新年明けて、どんど焼きと節分祭も開催します。

❖初詣

産土の神様は、生活すべてをご守護されています。子授け、安産、初宮、七五三、厄年、結婚など人生の節目に関わる儀式や願い事から、交通安全、商売繁昌、病気平癒、心願成就など、日常の様々に至るまでお守り下さいます。

新年一年間を生きる命のお力をお歳魂と呼びます。そうして毎年、魂が増えていくことから、神様からいただくお力やお蔭を昔から「恩頼（みたまのふゆ）＝（殖（ふ）ゆ）」と呼びます。一年の始まりであるお正月には、ぜひご家族で開運のご参拝・ご祈願へお越し下さい。

❖新年のご祈願について

●1月1日～3日

来訪順にご案内いたします。ご予約は承っておりません。参拝の行列に並ばず、直接祈願受付へおいでください。

●1月4日～（仕事始め）

ご予約を承ります。ご予約は必須ではありませんが、予約優先でのご案内となります。

会社・団体祈願について

◆新年初穂料　一万五千円より

新年限定の特大木札に名入れをして授与いたします。グループ・子会社など、複数社ご祈願の方は、2社目より一万円の初穂料で承ります。（授与品：特大サイズ名入れ木札・御神酒＋α）

※名入れ希望の場合はご予約下さい。
※混雑時は人数制限を行う場合があります。
※初穂料一万円でご希望の場合は、通年のご祈願と同様の形式でお受けします。
（授与品：通常サイズ木札・御神酒）

＊軽食販売

元旦と2日の11時から、手づくりのぜんざい・甘酒・コーヒーを販売いたします。

※売り切れの場合はご容赦ください

＊福笹

清らかな笹に御神木の山桃の種をつけた希少な縁起物の「福笹」。長谷川法世氏筆によるオリジナルの縁起物つきです。

❖どんど焼き

1月8日（成人の日）
10時～12時

どんど焼きは古いお札、お守りをはじめ、役目を終えたお正月のしめ飾り等を焼納する地域行事です。

焼納料　500円
受付　9時～12時まで（当日限り）

※しめ縄のだいだい、ビニール等はずしてお持ちください。
※神社で正月飾り・しめ縄等をお預かりできるのは本行事中のみとなります。時間内にお持ちください。

❖節分祭

2月4日（日）14時より

厄難消滅、開運招福の願いを込めて、豆まきの神事を執り行います。豆の小袋や奉納いただいたお菓子、果物などを、ご応募いただいた年男・年女または厄年の方々がまきます。

1月中旬以降から北海道産の大豆をご祈祷した福豆を社頭にて用意して参ります。ご家庭での豆まき、食用にご活用下さい。

豆をまく方を募集致します

年男・年女・厄年に該当する方から豆まきの参加者を募集しております。当日は節分祭本祭のお祓いにご参加の後、引き続き豆まき神事を執り行っていただきます。
初穂料：一万円より

ご希望の方はお電話下さい。
☎092・522・8435

※厄年表は裏面をご覧下さい。

❖秋季大祭・夜神楽のご報告

去る10月22日に秋季大祭・夜神楽を斎行いたしました。当日は朝から高宮八幡宮世話人会「山桃会」による宮座で、餅つきや神様にお供えする伝統の神饌づくりが行われました。また、神様に一年の稔(みの)りの感謝を奉告する大祭も、心地よい秋晴れのなか滞りなく執り行うことができましたことを感謝申し上げます。

夕方からは数年ぶりに音楽会・夜神楽を盛大に開催いたしました。多くのお客様にご来場いただき、神様と人々が共に楽しいひと時を過ごすことができました。今後もこういった〝神と人とが共にある〟神社の伝統を継承していくことができればと思います。

❖山桃会

（世話人会）越智 通信様より

今年は恒例の夜神楽に加え、多数の演奏者による音楽会も開催されました。地域の皆様のみならず企業の皆様にも多数ご来場いただいて秋季大祭を盛大に開催できましたことを、心より感謝申し上げます。また、宮座から大祭、夜神楽の実施と、滞りなく進めるにあたって、熱心に参加くださっている世話人会の方々にも、厚く御礼申し上げます。

秋季大祭・夜神楽は、神様と地域の皆様が共に過ごす祭事であり、日本人の心のふるさと、魂のふるさとだと言えましょう。私にとっては昔からこの高宮八幡宮が、心のふるさとのような心惹かれる場所でした。高校生の頃は、毎日の通学途中に鳥居を眺めていたものでしたが、今はご縁があり、世話人会に入って早くも18年が経ちます。これからも高宮八幡宮が、地域の皆様にとって癒やしの場所、心と心がつながり絆の生まれる場所であり、末永くこのような場が続いていくことを願っております。

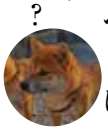
まじゅん 様

花音 様

clef 様

いまさら聞けない神社の話

乗り物やペットは「境内」に入れない？



境内は鳥居、注連縄(しめなわ)、川（橋）、道、囲（塀）などで結界を張っており、物質的にも霊的にも俗・穢(けが)れと切り離しています。結界の先は聖域ですから、不浄を持ち込まないよう気をつけないと危険ですよと警告しているわけです。

●乗り物について

神社の境内は「諸車下乗」という決まりがあります。乗り物から降りることと、車輌や牛馬の進入禁止を示しています。このルールは例え天皇陛下であっても守らなければいけません。

●ペットについて

かつて天皇陛下による宮中の祭祀が「五体不浄」という理由で中止になったことがしばしばありました。土葬だった当時、骸(むくろ)を犬が掘り返して、その手足をくわえて持ち込んだことを五体不浄と表したのです。犬としては本能に従って食物を探してきただけかもしれませんが、善・悪や浄・不浄の分別がつかない者を、絶対に穢していけない空間に入れることはできなかったわけです。そうした経緯から、今でもペット連れでの参拝ができないのです。

神ことば

「御神歌集」から選んだ句を読み解きます。

吾が心
すがすがしいと 唱へかし
心清まり 身も清まらむ

「吾(わ)が心清々し(すがすが)」とは古事記に出てくる素戔嗚尊(すさのおのみこと)のお言葉で、八岐大蛇(やまたのおろち)を退治（お祓い）された折りに発されました。当宮ではおなじみの「吾(わ)が心清々し(すがすが)」は、昔からこれを唱える者を神様がお守り下さると伝えられています。

さしのぼる
朝日のひかり へだてなく
世を照らさむぞ 我がねがいなる

昭和天皇御製（昭和35年）

太陽の慈しみの光は分け隔て無く全てのものにそそがれる、世の中もそのようになって欲しいと願う昭和天皇の歌です。「日月無私照」（『中庸』より）は昭和天皇の座右の銘として漏れ伝わっており、その精神を和歌で表現なされたものかと思います。天照大御神を祀る神主として、そして国の象徴としての御心が端的に表現されています。

神社をいろどる祝い事

✽初宮詣

無事に生まれてきた報告と感謝を申し上げ、お子様の健やかな成長を祈願いたします。

✽七五三

子どもの健やかな成長に感謝し、これからも変わらずお守りいただけるよう神様にお願いする行事です。近年、七五三のお詣りにみえられる時期がとても長く、9月～1月とゆっくり詣る方も多くいらっしゃいます。当宮では1月頃まで授与品などをご用意しております。

●初穂料：五千円より
●授与品：千歳飴、キャラクターグッズセット、手持ち日本国旗
※祈願申込の方は境内で自由に記念撮影可能
（カメラマン手配可）

✽神前結婚式のご案内

神前式をご希望の方は、髙宮庭園茶寮までお問い合わせください。

<お問い合わせ>
各種御祈祷は社務所まで。
☎092･522･8435
神前式は髙宮庭園茶寮まで
☎092･710･1367

八方ふさがりとは

どの方位も良くない、物事を始めるのによくない年回りとされています。御祈願で大難を小難に、小難を無難に、そして開運を祈ります。

満年齢（三碧木星）

9才 ……（平成27年生）
18才 ……（平成18年生）
27才 ……（平成９年生）
36才 ……（昭和63年生）
45才 ……（昭和54年生）
54才 ……（昭和45年生）
63才 ……（昭和36年生）
72才 ……（昭和27年生）
81才 ……（昭和18年生）
90才 ……（昭和９年生）
99才 ……（大正14年生）

厄年祓いとは

「厄年」とは人生の節目、吉凶の分かれ目の年です。
御祈願でこれまでの人生に感謝し、心新たにしましょう。

※満年齢は、今年の誕生日の年齢です。

令和6年 **厄年** 人生の節目・心身の不調・不運の時には御祓いを！

	前厄	本厄	後厄
男の厄年	24才 平成13年生 満23才	25才 平成12年生 満24才	26才 平成11年生 満25才
	41才 昭和59年生 満40才	42才 昭和58年生 満41才	43才 昭和57年生 満42才
	60才 昭和40年生 満59才	61才 昭和39年生 満60才	62才 昭和38年生 満61才

	前厄	本厄	後厄
女の厄年	18才 平成19年生 満17才	19才 平成18年生 満18才	20才 平成17年生 満19才
	32才 平成5年生 満31才	33才 平成4年生 満32才	34才 平成3年生 満33才
	36才 昭和64年生 平成元年生 満35才	37才 昭和63年生 満36才	38才 昭和62年生 満37才

令和6年 **年寿祭** 男女共に厄祓いをする。そして長寿の祝いとする。

男女共通	米寿 88才 昭和12年生 満87才	傘寿 80才 昭和20年生 満79才	喜寿 77才 昭和23年生 満76才	古希 70才 昭和30年生 満69才	還暦 61才 昭和39年生 満60才

厄年や八方ふさがりの星まわりが切り替わるのは節分です。厄に入る前、節分前に御祈願にお越しください。

【協力】山桃会（世話人会）… 三牧歌奈子（マーブル・デザイン）、奥永智絵（ホクレア社）